

地球丸ごとふたりで

「決まりきった日常よりも、愛車で寝て冒険を続ける毎日が最高！」
30年以上にわたって186カ国を旅してきたふたりの住まいは「地球」です。
次はどこへ行くのか、なにに出合えるか、楽しみは尽きません。



スイス人のリリアナ・シュミットさんとエミール・シュミットさん夫婦が旅を始めたのは1984年のこと。結婚してから15年間はチューリッヒに住み、ふたりで一所懸命働き、ビジネスにおいて成功も収めました。共に築いた資金を元に、終わりのない旅に出たのです。以来、どこにも居を構えることなく、愛車のトヨタ・ランドクルーザーに乗り、見知らぬ土地を訪れ続けています。

「私たちにとって、旅は単なる移動ではありません。愛車という我が家です。家づくろぎながら、初めて目にするものや土地の人たちに触れ、新たな冒険に向かっていく、かけがえのない時間なのです。そしてランドクルーザーは自動車という存在を超えて、壮大な旅の大切な一部となっています」

ふたりにとって自動車は、移動手

日本は、1999年の7月から9月にかけての約2カ月にわたって滞在しています。最初に着いたのは神戸でした。梅雨空のなか、伝統的な木造住宅を見たり、盆栽に感嘆したり、青々とした田んぼに心落ち着かせたり。そして四国の奥深い山道を走り抜け、富士山の麓で食事を堪能し、渋谷では赤提灯に興味津々だったとか。日本にいる時間はとても心地よく、そして身の安全を感じられたそうです。

旅のだけれども ふたりには日常

渡り鳥だつてある一定のルートで飛んでいるというのに、日々「次はどこへ行くのか」と考えているおふたり。落ち着きたいと思ったことはないのでしょうか。

「その質問には自信を持ってお答えしますよ。ノーです！ 私たちはふたりとも、冒険が好きで、驚きが好きで、未知のものが大好きです。毎日決まったことは望みません。そして多くの国や地域において、定住するのはとても難しく、複雑な手続きが必要になりますしね。」

段であると同時に、ともに旅する仲間のようなものなのでしょう。五大陸すべてに行つたシュミットさん夫婦が、これまでいちばん長く過ごしているのはアメリカです。「何回かに分けて行っているのですが、合わせるには2年間はアメリカにいたことになります。ハワイとグアム以外の州はすべてまわりました。アメリカには広大な国立公園がたくさんあります。あれだけ広い国ですから、公園によって砂漠あり、山あり、滝ありと趣が異なり、そのどれもが素晴らしい。アメリカを訪れては、自然と自由を満喫し、喜びを感じています」

その土地で暮らす方々の伝統的な生活を垣間見ることができると、楽しみのひとつです。さまざまな文化があることを、肌で感じます。そして土地のみなさんが日常食べているものを口にするのは、毎回新鮮な経験です」

ふたりが過ごしている時間は、私たちにとっては「旅」に見えるけれども、ふたりにとってはごく普通の日常です。だから訪れる土地と、その土地に暮らす人々に、すんなり溶け込めるのでしょう。いつかは世界一周を。そう思っている方は、ぜひシュミットさんのサイトを見てみてください。「いつか」を「いつも」に変えたふたりにとって、地球すべてが居場所であり、我が家なのだということが伝わってきます。

